

帝部



大正十一年一月

4

震災臨時議會 休

解散 ラ予想して 時々 聲明 案

(附) 池田社有局長友一草也 解散
必迫 其他臨機應變案)

東京市日比谷公園 市政會館內

後藤新平伯傳記編纂會

電話銀座 (57) 四〇〇二二
振替口座東京六一六三三番 〇二〇〇六二一番

帝都ノ復興ニ関スル議案ニ對スル
議會ノ決議ニ付テ其ノ條理ニ議決
之ヲ尊重セサル可ラスト輕モ今國帝都復興
ニ関スル詔勅ヲ奉戴シ特ニ臨時議會
ノ召集ヲ奏請シタル巨額ノ支出ヲ財政上
ノ緊急處分ニ依リ措置スルノ穩當ナラザル
ヲ認メタルト事帝都市民ノ休戚ニ関スル喫
緊焦眉ノ重要事件ニシテ常會ヲ俟ツ
遑ナキニ因ルモノナルニ願ヒ臨機左ノ通指
置スルモノトス

第一 衆議院ニ於テ所カ帝都復興
興計畫法及事務費ニ關シ概算ノ運
用ヲ如何ニテ事業費ヲ削減シテ
詔勅ノ要趣自ラ奉行スル能ハサラレム
算アルニ於テ衆議院ノ解散ヲ奏請シ
緊急支出ヲ断行スル事
第二 前項ノ場合ニ於テモ貴族院ニ於テ
審議ノ期間ヲ剩ストモ其ノ議ニ俟テ
其ノ議決案衆議院ト同レキ場合ニハ前
項ト同一ノ措置ヲ執ル事

貴族院原案に同意せる場合に於て會
期切迫し兩院協議會より用ひ終つたとき
二十三日の期して閉會し命じ常會に同一
議案を提出し緊急議決を要求する事
兩院協議會より用ひて協議成立せしむる
せんとき第一項の措置を執る事

第三衆議院の修正に違つて機同運用の
妨ナク 詔勅の事務方より貴族院の審議に俟て
ナレトむる場合に貴族院の審議に俟て
其の衆議院と同意見ナルとき又ハ衆議院

カ貴族院の原案復活意見に同意せる
とき格別貴族院の原案復活意見に
依り兩院協議會より用ひて終つた場合に
ハ前項中二の措置を執る事兩院協議會
より用ひて違つたとき亦同し